

1 センターサイディング標準施工法

1-14 胴縁下地組み

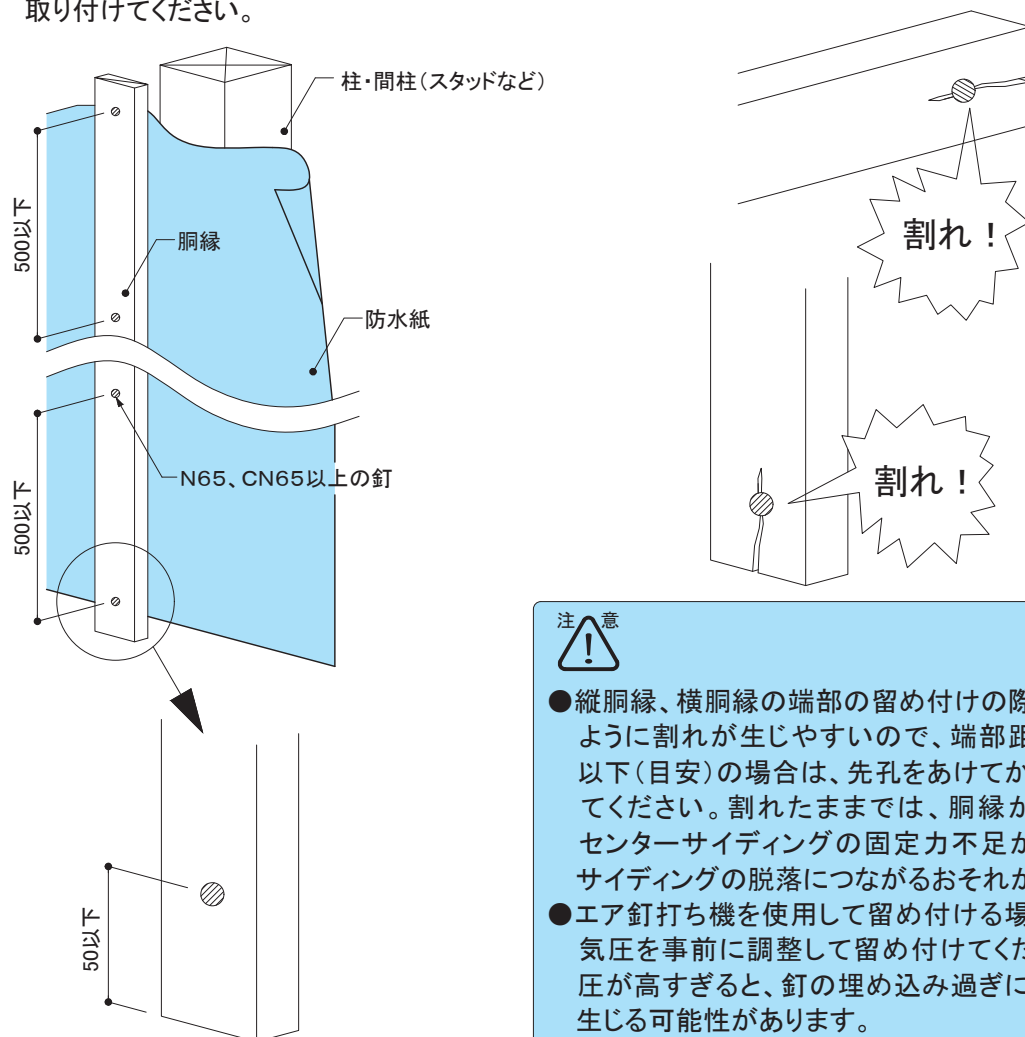
3) 胴縁の下地組みの施工(留め付け・間隔)

※防耐火構造とする場合は、防耐火構造認定書の別添の通りとしてください。

- 胴縁は、必ず防水紙を張った後に留め付け、センターサイディングの裏面が防水紙と密着しないようにします。
- 胴縁は、500mm以下の間隔で柱や間柱などの躯体に留め付けます。

胴縁間隔	500mm以下(躯体に留め付け)
留付 釘・ビス	N65、CN65以上の釘・φ3.8mm×50mm以上の木ビス
留付間隔	500mm以下

- 胴縁端部への留め付けの際は、割れ防止のため、先孔をあけてから留め付けてください。
- 胴縁下地組みの仕上げ面は、目通りずれ2mm以下、不陸ずれ1.5mm以下となるように厚みを調整して取り付けてください。



注意



- 縦胴縁、横胴縁の端部の留め付けの際は、上図のように割れが生じやすいので、端部距離が50mm以下(目安)の場合は、先孔をあけてから留め付けてください。割れたままでは、胴縁が反ったり、センターサイディングの固定力不足からセンターサイディングの脱落につながるおそれがあります。
- エア釘打ち機を使用して留め付ける場合には、空気圧を事前に調整して留め付けてください。空気圧が高すぎると、釘の埋め込み過ぎによる割れが生じる可能性があります。



胴縁は必ず躯体(柱・間柱・スタッド)に留め付けてください。
耐力面材のみへの釘打ちやビス留めは行わないでください。
のちのセンターサイディングの脱落などの危険性があります。